

| | | | | | | | | |
|------|--|--------|-------|------|------|-------|------|------|
| 団体名 | 長崎留学生支援センター | | | | | | | |
| 事業名 | 長崎市民と長崎地域の大学等の新入留学生、日本人学生に対する平和学習及びバスハイク | | | | | | | |
| 実施期間 | 2016年6月4日(土曜日)、2016年11月5日(土曜日) | | | | | | | |
| 場 所 | 長崎大学 中部講堂、長崎平和公園、原爆落下中心地、原爆資料館、長崎歴史文化博物館 | | | | | | | |
| 参加者数 | 外国人留学生 | その他外国人 | 日本人学生 | 地域住民 | スタッフ | 大学関係者 | 来場者等 | 合計 |
| | 545 | 9 | 19 | | 16 | 33 | | 622名 |

<実施内容>

平成28年6月4日と11月5日に、長崎平和大学(長崎県民と長崎地域の新入留学生、日本人学生に対する平和学習及びバスハイク)を開催した。本事業は公益財団法人中島記念国際交流財団助成を受けて、平成21年度から年2回実施している。今年は、日本を含む38カ国・地域からの学生564名の参加があった。

午前中は、被爆講話で、6月4日に松尾幸子さん11月5日に原田美智子さんをお迎えして、被爆講話をした。参加者は原爆により多くの家族や親戚を亡くされた経験や、平和の大切さ、原爆の悲惨さをお聞きした。講話の後には、参加していた中国の留学生から「平和のために、私たちにできることは何かありますか?」という質問もあり、参加学生は熱心に講話を聴いていた。

午後からは、平和案内人(ボランティアガイド)の説明を受けながら平和公園、原爆落下中心地等の被爆遺構を巡り、原爆の悲惨さや平和の大切さを実感した。参加した学生たちは熱心に平和案内人話を聴いていた。その後、長崎原爆資料館と長崎歴史文化博物館を見学し、平和と長崎の歴史・文化について学んだ。普段知る機会のない原爆の実態を知り、学生からは“原爆は怖い”、“平和が大切”などのコメントを得た。

11月5日に交流の時間を増やすため、昼食は水辺の森公園で取ることにより、留学生達がグループになって、自由に意見交換ができたようだった。

今回参加した学生たちからは、「長崎歴史博物館と原爆資料館を見学して、戦争と平和について、もっと理解ができた。」という感想が寄せられた。また、渡日したばかりで日本語があまり上手ではない留学生も、平和大学を通して世界平和について理解を得たようだった。

<記録写真>



被爆講話後学生が質問をしている



平和公園でガイドさんの説明を聞く

<参加者からのコメント>

留学生(匿名)

留学生(匿名)

このイベントに参加して良かったと思った。被爆体験話を聞いて、本当にその時の苦しさを感じた。
平和記念像や平和公園の中を一つずつガイドさんが説明してくださったので、とても助かった。
平和は、どの国に対しても重要だ。みんな一緒に交流して、平和の重要さを一層深く理解した。
長崎について勉強でき、異文化交流もできて良い経験になった。

非常に満足で、世界の平和に望みます。
今回の平和大学を通じて、長崎の歴史・文化をすこしわかるようになりました。特に、被爆者による講話や原爆遺構等の見学を通して核兵器と戦争の恐ろしさおよび平和の大切さを実感しました。非常に有意義な活動で良い勉強になりました。最後の長崎歴史文化博物館での見学時間があまりなく、詳しく見学することができなかったのは、残念でした。